

◆秋田浩一監督

(振り返って)勝てて良かった。戦う姿勢とか意欲があったからじゃないか、メンタルの面が一番強い。(4点取ったが)チャレンジしていたからOWNゴールも生まれた、湯澤のはちょっとまぐれっぽいけど(笑)。総理大臣杯の時もあったから、感覚はあるのかな。ちゃんとチャレンジしていたからその結果だと思う。(後半回されていたが?)あれはいつも想定してること。前の2人がばてちゃって、最初のボールのとに行けないから、ウチはワンボランチでやっているのだからどっちかのサイドにいったらその空いた所を使われちゃう。サイドからもう1回外にはたかれて、両SBが上げられちゃうとやられちゃう。そのパターンで何本かやられたので、だから金には出るなっていった。あの時間だけこぼれ球を全部拾われちゃったから。(無失点に関しては)ラッキーもあったかな。もちろん忠実にズルしないでやっていた結果だと思う。それとスペースは使われていたんだけど慣れてきたらどっちかに限定して、どっちかっていうと右サイドからのクロスがほとんどだった。ボール出所と、限定出来たことが無失点に抑えられた原因だと思う。きっちりマークを見ながらポジションを取れるっていう。(相手の9番を抑えていたが)ただ今日は引いてのプレーが多かったからウチとしてはラッキーだった。もちろん彼の引いたスペースを早稲田は使いたかったと思うが、そこはちゃんと言ってあった。引いたら金がいて、ただそこを上手く回されると金がいった分そのスペースを使われちゃうっていう繰り返しだった。でもそれも慣れてきてたし富山は一発あるのという話しはしていたので。裏に抜けられなかったのは良かった。ガツと出られたら決定的なチャンスを作られていたんじゃないか。そういう意味では裏に走られなかったのはいい。(次節に向けて)中央もボールを回すのが上手いので、限定しながらきっちり人についてズラしながら穴を埋めてくっていうことをきっちりやらないと綻びがどっかで出ちゃう。

順位	チーム名	勝点	試合	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差
1	明治大学	43	17	14	1	2	38	8	30
2	駒澤大学	33	17	10	3	4	25	14	11
3	国士舘大学	33	17	10	3	4	27	19	8
4	筑波大学	30	17	9	3	5	35	25	10
5	中央大学	28	17	8	4	5	32	27	5
6	順天堂大学	25	17	7	4	6	26	22	4
7	神奈川大学	23	17	7	2	8	23	25	-2
8	慶應義塾大学	21	17	6	3	8	25	26	-1
9	早稲田大学	19	17	5	4	8	19	25	-6
10	流通経済大学	17	17	5	2	10	23	28	-5
11	法政大学	11	17	3	2	12	19	39	-20
12	拓殖大学	7	17	2	1	14	14	48	-34

(得点ランキング)

- 1位 武藤雄樹(流通経大)9点
- 赤崎秀平(筑波大)他2名
- 5位 岡本達哉(順大)
- 富山貴光(早大)
- 7位 金久保 彩(駒大)
- 林 容平(中大)
- 他2名

(アシストランキング)

- 1位 小澤 司(筑波大)9アシスト
- 2位 金子昌弘(国士大)7アシスト
- 金久保 彩(駒大)
- 4位 野田明弘(早大)5アシスト
- 他2名
- 7位 山田大記(明大)4アシスト
- 永木亮太(中大)

MATCH PREVIEW

VS 中央大学

集中応援日 駒大サッカーに惚れる!!!

前節、早稲田大学を相手に4-0と快勝した駒澤だが、今節から負けられない戦いが続く。今節は中央大学、次節は筑波、そして国士舘、明治大と上位でインカレ争いを繰り広げるチームとの対戦となる。

中央大学は、5位とインカレ圏内の4位に勝ち点2差と絶対に勝ち点を狙った戦いをしてくるだろう。中大は攻撃陣はタレントが豊富で、湘南ベルマーレ内定の永木亮太、横浜FC内定の佐藤謙介、U-19日本代表の六平とパスを回してくるサッカーは健在だ。中盤でパスをつなぎFWの林、安の強力な2トップの破壊力には注意が必要だ。



一方駒大は、亀井がケガから帰ってきてから、無失点の試合が続いている。そして、水曜のJリーグでは、笠井が大臣杯の決勝以来の復帰が近づき、中盤に新たな駒が増えた。笠井が復帰したら中盤の構成に変化が加わり、前期から大臣杯を優勝したような堅守が復活する。

攻撃陣も前節4-0と快勝したことによって、より「縦に速い」駒大サッカーが明確になった。これからの戦いかたでは、攻撃陣の奮起が必要不可欠だろう。

これからはインカレ圏内をめぐる争いが激しくなるだろう。駒大は残りの試合の日程は、上位5チームとの直接対決を控えているので、インカレ出場には、絶対に勝ちを狙いたい。選手たちも首位明治と勝ち点が10離れていても、優勝はできるとメイクレジェンドを信じている。(西山裕之)